

科目名	栄養学Ⅱ (療養生活と栄養・食事療法)					DP4 DP5		看護高等課程
学年	1 年	分野	専門基礎 栄養	時間数	12 時間	担当 教員	瀧下 淳子	
科目 概要	人体を構成している物質は、新しく産生された物質と置き換わり、常に人体を活性化（新陳代謝）するように働いている。そして食物を摂取することで得られた栄養素を基に人体に必要な物質を産生し、さらに活動するために必要なエネルギーを産生している。このような生体内の代謝はそれぞれの臓器、組織が相互に補償しあって円滑に機能している。ここでは、患者の状態や疾患別の食事療法について学ぶ。							
到達 目標	1. 様々な食事と栄養管理について理解することができる。 2. 疾患別の食事療法について理解することができる。							
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員
1～6	病院食		病院食の種類、病院食の決め方、食事の形態 病院食と配膳、食事と看護、栄養管理プログラム 入院時食事療養制度				講義	瀧下
	食事療法		腎臓疾患の食事療法				講義	
			循環器疾患の食事療法				講義	
			代謝疾患の食事療法				講義	
			消化器疾患の食事療法				講義	
			悪性腫瘍・貧血・アレルギー性疾患の食事療法 高齢者疾患の栄養管理・食事療法 小児疾患・妊婦・授乳婦の食事療法				講義	
	特殊栄養法		経腸栄養法（EN）、静脈栄養法（PN）、成分栄養剤				講義	
試験		(ゆとり時間)				試験		
評価 基準	100 点満点とし、6 割以上を合格とする。また、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席が必要となる。							
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。							
教科書	看護学入門 2 栄養 薬理 糖尿病食事療法のための食品交換表 文光堂（栄養・代謝疾患の栄養食事療法にて使用） 必要時、資料等は配布する。							
履修上の 注意点								